

令和元年度 第4回板倉区地域協議会 次第

日 時：令和元年6月19日（水）

午後6時00分から

場 所：板倉コミュニティプラザ

201・202会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 所長あいさつ

4 報 告

(1) 板倉区の小学校の統合について

(2) 次期総合公共交通計画の策定について（資料1-1～1-5）

5 協 議

(1) 地域協議会委員視察研修について（資料2）

(2) その他

6 その他

7 閉 会

・次回 7月18日（木）午後6時～ 第5回板倉区地域協議会

板倉コミュニティプラザ 市民活動室

次期総合公共交通計画の検討状況と再編の方向性について

1 現状調査の状況

(1) 実施状況

・計画の検討に当たり、住民の移動の実態や課題を把握するため、下記の調査を実施した。

| 項目 | 時期 | 目的 | 実施方法 | 実施人数 |
|----------------|-------------------|-----------------------------------------------|----------------------------------|---------|
| ①公共交通に関するアンケート | H30年3月 | 市民の移動実態、公共交通に対する関心度、意見等を把握 | 市民6,228人にアンケートを郵送(回収率44.1%) | 2,745人 |
| ②路線バス乗降調査 | H30年6～7月 | 市内の路線バスの利用状況を把握 | 調査員がバスに乗り、利用者に聞き取り | 5,932人 |
| ③高校生アンケート | H31年1月 | 高校生の通学利用のニーズ、課題を把握 | 高校1,2年生3,903人にアンケートを配付(回収率91.1%) | 3,557人 |
| ④聞き取り調査 | H30年4月～ H31年2月 | 高齢者等の移動の実態・課題、公共交通に対する意見の把握により、再編の方向性の検討材料を収集 | 町内会長を訪問し聞き取り | 661人 |
| | | | 民生委員を訪問し聞き取り | 226人 |
| | | | サロン参加者に聞き取り | 680人 |
| | | | 住民を個別に訪問し聞き取り | 524人 |
| | | | 電話等で聞き取り | 282人 |
| 合計 | — | — | — | 15,081人 |

(4)聞き取り調査の項目別、区・地域別の内訳

| No. | 項目 | 安塚区 | 浦川原区 | 大島区 | 牧区 | 柿崎区 | 大潟区 | 頸城区 | 吉川区 |
|-----|--------------------------|---------------------|-----------------|---------------|---------------|---------------------|-----------------------------------------|----------------|-----|
| 1 | 町内会長への聞き取り (集落カルテ調査等) | 17人 | 34人 | 24人 | 39人 | 57人 | 22人 | 55人 | 50人 |
| 2 | 民生委員への聞き取り | 11人 | 戸別訪問等を行うため実施せず | 7人 | 10人 | 3人 | 18人 | 18人 | 14人 |
| 3 | サロンでの聞き取り | 80人 | 80人 | 12人 | 39人 | 14人 | 151人 | 58人 | 30人 |
| 4 | 戸別訪問 | 30人 | 137人 | 3人 | 56人 | (住民懇談会実施予定) | 他の調査で傾向がつかめたため実施せず H31の合意形成時に聞き取りを実施 | | |
| 5 | 免許返納者への聞き取り | 7人 | 10人 | 1人 | 3人 | 27人 | 58人 | 1人 | 11人 |
| 6 | その他 | 病院利用者、バス利用者 105人 | 出張何でも懇談会 52人 | 高齢者合唱団 20人 | 地区懇談会 128人 | 地域協と住民との懇談会 (予定) | — | 地区振興会役員 11人 | — |

| No. | 項目 | 中郷区 | 板倉区 | 清里区 | 三和区 | 名立区 | 合併前 | 小計 | 合計 |
|-----|--------------------------|----------------|--------------------|-------------------|-------------------|-----------------------|----------------|------|--------|
| 1 | 町内会長への聞き取り (集落カルテ調査等) | 24人 | 50人 | 25人 | 46人 | 35人 | 183人 | 661人 | 2,847人 |
| 2 | 民生委員への聞き取り | 戸別訪問等を行うため実施せず | 20人 | 8人 | 戸別訪問等を行うため実施せず | 戸別訪問等を行うため実施せず | 117人 | 226人 | |
| 3 | サロンでの聞き取り | 59人 | 他の調査で傾向がつかめたため実施せず | 133人 | 8人 | 96人 | 戸別訪問等を行うため実施せず | 680人 | |
| 4 | 戸別訪問 | 55人 | 55人 | 35人 | 88人 | 58人 | 62人 | 524人 | |
| 5 | 免許返納者への聞き取り | 0人 | 28人 | 10人 | 12人 | 0人 | 114人 | 282人 | |
| 6 | その他 | ひばり荘利用者 18人 | 板倉中PTA役員 12人 | 老連、まちづくり団体 20人 | 病院利用者、老連役員 31人 | 健康づくり集会、福祉フェスタ 77人 | — | 474人 | |

(2) 調査結果の概要

①公共交通に関するアンケート (H30年3月)

■結果概要

- ・市民の約9割が公共交通を「重要」と認識
- ・70歳以上の高齢者は、約8割は自家用車により移動、公共交通(鉄道、バス、タクシー)は10.9%
- ・免許のない人は、家族等による送迎と公共交通による移動がほぼ半々
- ・便数、ダイヤ、乗換負担、ルート、運賃等の満足度が低い一方、バス停までの距離は満足度が高い

■計画への反映

- ・調査結果から読み取れる住民のニーズについて、聞き取り調査の結果とあわせ、検討の参考とする。

②路線バス乗降調査 (H30年6～7月)

■結果概要

- ・バスの利用者は、学生(小中高大)が41.4%で最多、次いで一般が27.6%、高齢者は26.4%
- ・利用の傾向(利用時間帯・区間・目的等の偏り)に応じて路線を分類
- ・バスの運行に対して意見・要望のある利用者は全体の1.4%(路線や企画切符の維持を希望する意見が41.1%、乗換の利便性向上が9.2%)

■計画への反映

- ・路線の利用の傾向を踏まえ、各地域の再編案を検討する。(利用の少ない時間帯のダイヤ見直し・減便、主な利用目的を踏まえた路線の改善等)

③高校生アンケート (H31年1月)

■結果概要

- ・公共交通により通学する生徒(冬期)は、鉄道は1,732人(48.7%)、バスは379人(10.7%)
- ・バスの運行が改善すれば利用する(継続を含む)とした生徒は768人(21.6%)
- ・バスについての改善の意見が366件あり、内容は本数・ダイヤが37.0%、運賃が14.9%

■計画への反映

- ・高校生の通学の利便性の向上の観点から、各地域の再編案を検討する。
- ・ダイヤ改正についての意見は、H31年3月のダイヤ改正に反映した。

④聞き取り調査 (H30年4月～H31年2月)

■結果概要

- ・サロンや各種集会の参加者や戸別訪問により、高齢者等の移動実態を聞き取ったほか、町内会長や民生委員から、町内の住民の移動実態について聞き取りを行った。
- ・運転免許を持たない人は、家族や近所の人の送迎により買い物や通院の用を足しているため、バスを利用しないという意見が多かった。
- ・一方、バス停までの距離、ダイヤ、ルートといった公共交通に対する意見・要望が寄せられた。

■計画への反映

- ・調査で把握した高齢者、運転免許を持たない人などの意見、ニーズを踏まえ、各地域の再編案を検討する。

2 路線バスの再編の基本的な考え方

(1) 基本方針

計画期間はR2年度からR9年度までの8年間とし、市民の移動手段を確保するとともに、効率性を向上することで、持続可能な公共交通ネットワークを構築する。

①市民の移動手段の確保

- ・調査で把握したニーズを踏まえ、地域住民とともに、「乗ってもらえる公共交通」のための見直しを行うことで、市民にとって利便性の高い移動手段を確保する。
- ・公共交通の導入を行わない地域や路線を廃止する地域においては、互助による輸送への支援やタクシー券の配布等により、自助、互助による市民の移動手段を確保する。

② 効率性の向上

- ・効率性の向上により、最少の経費で最大の効果を挙げる公共交通とする。
- ・「乗らなければバスがなくなる」という現状を地域住民と共有し、路線の利用状況を踏まえ、一定の基準を下回る路線については、より効率的な運行形態への転換、さらには路線バスの廃止、互助による移送サービスへの転換を含めた見直しを検討する。

(2) 再編の基本的な考え方

① 公共交通ネットワークの整理と路線の役割分担 (P4 参照)

- ・路線を主要幹線、幹線、支線に区分し、役割を踏まえた利便性の向上、効率化を行う。
- ・駅から総合事務所を経由し、中山間地までを結ぶ路線は、幹線と支線に分割する。(宮口線等)

| | 主要幹線 | 幹線 | 支線 |
|--------|---------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------|
| 基本区間 | 上越妙高駅～直江津駅 | 駅～病院～区総合事務所 | 区総合事務所～集落 |
| 役割 | 市の中心地の駅・病院等の拠点間の移動と、市街地の生活交通を確保 | 13区・郊外の拠点から、市の中心地・駅へのアクセスを確保 | 集落から、日常生活に必要な機能がある拠点へのアクセスを確保 |
| 再編の考え方 | ・増便、ダイヤの改善等による利便性向上 | ・サービス水準を維持し、利便性を向上 ・収支悪化路線の効率化 | ・きめ細かな移動を確保 ・効率化のための再編が基本(運行形態の転換等) |

■交通空白地の対応について (バス停から半径300メートル以上、高齢者の歩行速度：約60m/分で5分以上)

| | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現状調査の結果 | ・聞き取り調査においては、自家用車や家族等による送迎により移動している高齢者が多く、十分な需要を確認できなかった。 |
| 基本的な考え方 | ・地域住民から公共交通の導入等について要望があった場合は、具体的な需要について聞き取りを行い、下記②と同様の指標によって十分な需要が認められることを確認した後、必要に応じて対応を検討する。(対応例) 路線の再編に伴う経路変更、公共交通の新規導入 |

② 路線ごとの評価に基づく再編の方向性の整理

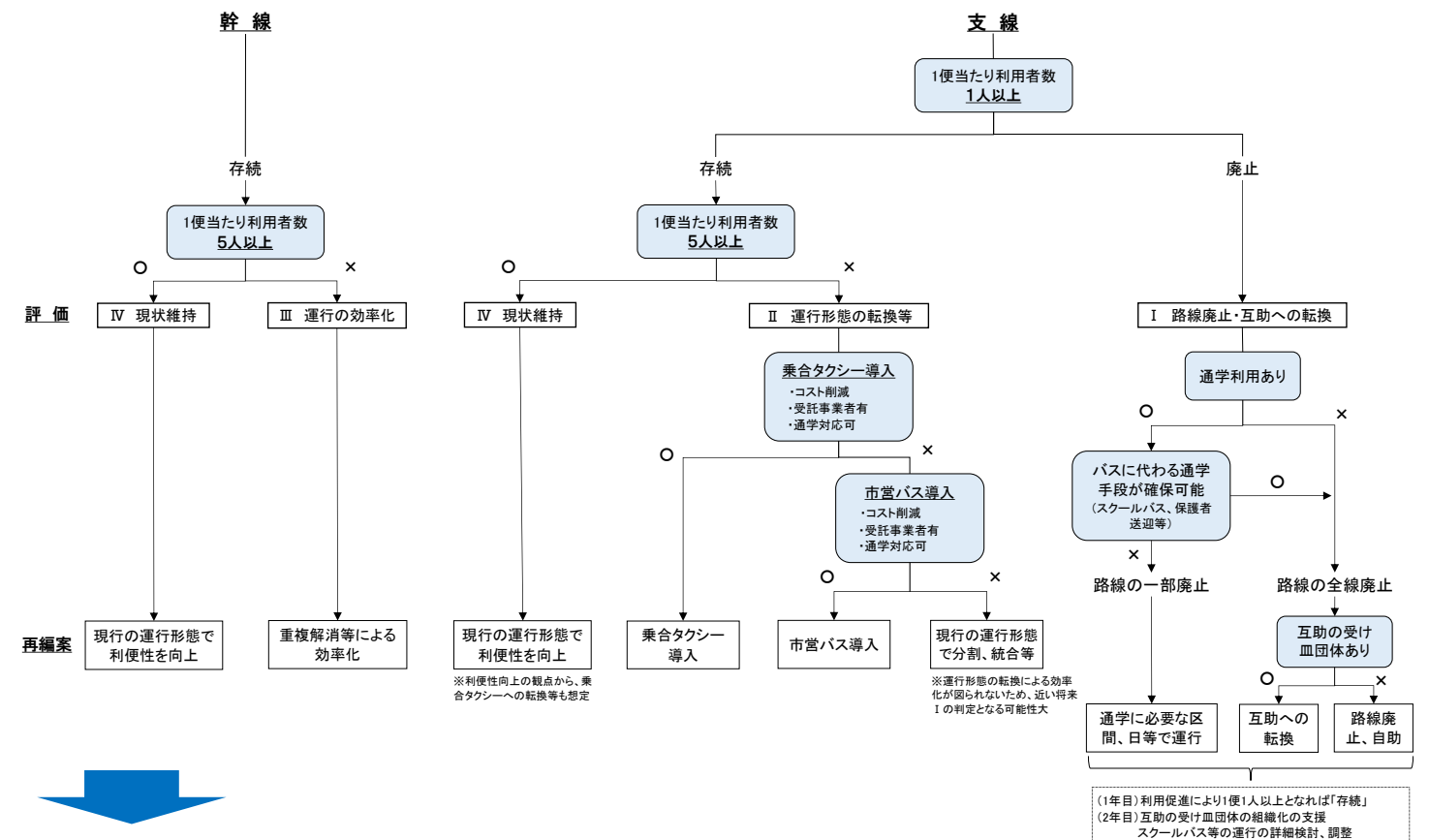
- ・バスの利用状況の視点から各路線を評価し、路線の再編の方向性を整理する。
- ・一定の利用がある路線は、地域住民のニーズを踏まえ、ルート、ダイヤ、本数等の改善を検討し、利便性の向上を図る。
- ・利用の少ない路線は、路線の重複解消、減便や、乗合タクシー、市営バス等への転換のほか、路線バスの廃止、「互助」による移送サービスへの転換を検討する。

3 スケジュール

| | | 市全体の検討 |
|-----|-------|--------------------------------------------------------|
| R1年 | 5月～9月 | ・地域協議会、地区公共交通懇話会、地区懇談会等への説明・意見交換 ・地域住民、バスの利用者との意見交換 |
| | 12月 | ・計画案の作成 |
| R2年 | 1月 | ・パブリックコメント |
| | 3月 | ・計画の策定 |

■検討フロー(案)

① 路線の存続・運行主体の方向性の検討



② サービス(運行経路、ダイヤ等)の見直し

■利用の実態

- ・路線バスの利用の傾向を踏まえ、路線のサービスの改善・効率化の方向性を整理

| 利用の傾向 | 再編の考え方② (サービス改善の方向性) |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------|
| A 利用時間帯に偏りあり | ・利用が多い時間帯の定時便化 ・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、利用喚起 ・利用が少ない時間帯の減便 |
| B 利用区間に偏りあり | ・利用が多い区間の維持 ・利用が少ない区間のサービス向上、利用喚起 ・利用が少ない区間のルート見直し ・幹線、支線の分割 |
| C 利用がほとんどない | — (2(1)で「I 路線廃止・互助への転換」と評価) |
| D 時間・区間に問わず利用あり | ・更なる利便性の向上 |
| ア 利用目的に偏りあり | ・利用の多い目的のための更なる改善 ・利用の少ない目的のためのダイヤ変更、サービス向上 |
| イ 利用目的に偏りなし | ・更なる利便性の向上 |

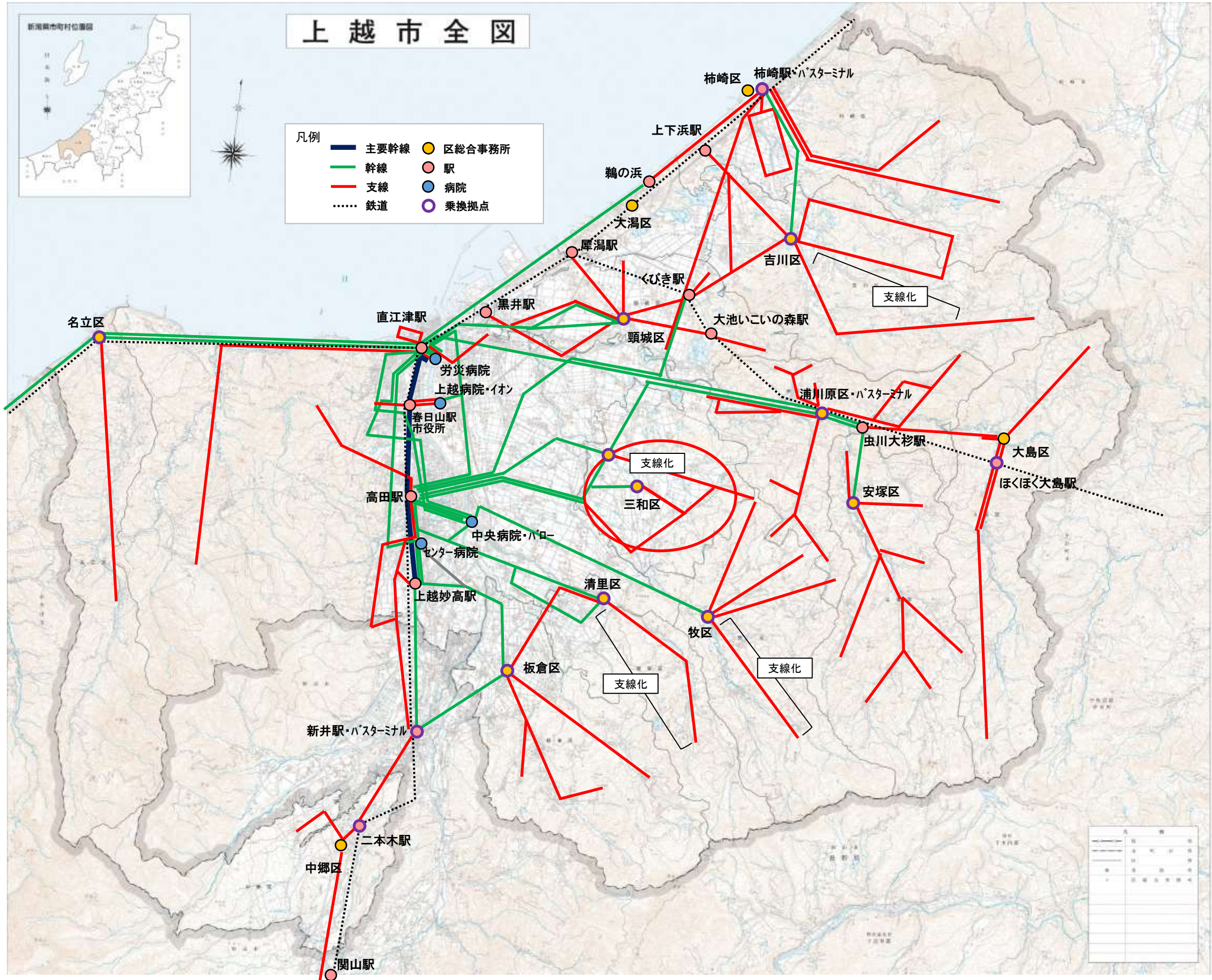
■地域住民の意見

- ・利用者や地域住民の意見・要望を踏まえ、路線のサービスの改善の方向性を整理
(例：再編の考え方③) 運行経路・ダイヤの見直し、バス停増設

③再編の方向性の検討

- ・上記1、2(1)～(3)の評価・検討プロセスを踏まえ、路線ごとに再編の方向性を整理

※P5「再編の方向性一覧」



再編の方向性一覧【板倉区】

資料1-3

| No. | 路線 | 区分 | 1便当たり 利用者数 | 評価区分 | 再編の方向性(検討中の案) | H30決算(円) | | | | 平均乗 車密度 | 利用者数 (H30) |
|-----|--------|----|---------------|-----------|----------------------|-----------|------------|-------|-----------|------------|---------------|
| | | | | | | 収入 | 支出 | 収支率 | 市補助額 | | |
| 29 | 島田線 | 幹線 | 2.5 | Ⅲ運行の効率化 | ・上越妙高駅乗り入れ、減便 | 2,364,201 | 13,564,143 | 17.4% | 6,196,000 | 0.9 | 8,432 |
| 30 | 山寺薬師線 | 支線 | 1.9 | Ⅱ運行形態の転換等 | ・乗合タクシー、市営バス等への転換 | 1,163,505 | 10,848,931 | 10.7% | 9,685,000 | 0.6 | 8,735 |
| 31 | 上関田線 | 支線 | 1.4 | Ⅱ運行形態の転換等 | ・乗合タクシー、市営バス等への転換 | 977,828 | 10,557,840 | 9.3% | 7,387,000 | 0.5 | 6,523 |
| 32 | 菰立線 | 支線 | 1.2 | Ⅱ運行形態の転換等 | ・乗合タクシー、市営バス等への転換 | 487,018 | 5,938,718 | 8.2% | 5,451,000 | 0.3 | 4,887 |
| 33 | 三針線 | 支線 | 0.6 | Ⅰ路線廃止 | ・廃止を基本とし、通学利用への対応を検討 | 290,902 | 3,076,400 | 9.5% | 2,785,000 | 0.4 | 1,497 |
| 34 | 新井・板倉線 | 幹線 | 4.1 | Ⅲ運行の効率化 | ・減便 | 5,379,616 | 16,379,847 | 32.8% | 4,884,000 | 0.8,2.5 | 29,778 |

地域別公共交通の再編の方向性（板倉区）

1 各路線の評価

(1) 路線の存続・運行主体の方向性（収支状況）

| No. | 路線 | 区分 | 収支等の状況（路線バスは100円未満を切り上げ、市営バスは100円未満を切り下げる） | | | | 再編の考え方① | | | | | | | |
|-----|--------|----|--------------------------------------------|--------------|--------------|-------|--------------|-------------|-------------------|-------------------|-----------------------|------------|-----------|---------------------------------------------|
| | | | 経常費用 (千円) | 経常収益 (千円) | 経常欠損 (千円) | 収支率 | 国庫補助 (千円) | 市補助 (千円) | 生計利用 者数 (人) | 市補助 利用者 (人) | 1世帯あたり 利用者数 (人) | 平均乗 車密度 | 区分 | 内容 |
| 1 | 島田線 | 幹線 | 13,564 | 2,364 | 11,200 | 17.4% | 5,003 | 6,196 | 8,432 | 735 | 2.5 | 0.9 | Ⅲ運行の効率化 | ・利用が少ない土日の減便を検討 |
| 2 | 山寺薬師線 | 支線 | 10,849 | 1,164 | 9,685 | 10.7% | 0 | 9,685 | 8,735 | 1,109 | 1.9 | 0.5 | Ⅱ運行形態の転換等 | ・乗合タクシー、市営バス等の運行形態の転換を検討 ・利用が少ない土日の減便を検討 |
| 3 | 上関田線 | 支線 | 10,558 | 978 | 9,580 | 9.3% | 2,193 | 7,387 | 6,523 | 1,132 | 1.4 | 0.5 | Ⅱ運行形態の転換等 | ・乗合タクシー、市営バス等の運行形態の転換を検討 ・利用が少ない土日の減便を検討 |
| 4 | 孤立線 | 支線 | 5,939 | 487 | 5,452 | 8.2% | 0 | 5,451 | 4,887 | 1,115 | 1.2 | 0.3 | Ⅱ運行形態の転換等 | ・乗合タクシー、市営バス等の運行形態の転換を検討 ・利用が少ない土日の減便を検討 |
| 5 | 三針線 | 支線 | 3,076 | 291 | 2,785 | 9.5% | 0 | 2,785 | 1,497 | 1,860 | 0.6 | 0.4 | I路線廃止 | ・路線の廃止に該当するが、通学利用があるため、利用がある便を当面維持 |
| 6 | 新井・板倉線 | 幹線 | 16,380 | 5,380 | 11,000 | 32.8% | 341 | 4,884 | 29,778 | 164 | 4.1 | 0.9 | Ⅲ運行の効率化 | ・利用が少ない土日の減便を検討 |
| 合計 | | | 60,366 | 10,663 | 49,703 | 17.7% | 7,537 | 36,388 | 59,852 | 608 | 2.3 | - | | |

(2) サービス（運行経路、ダイヤ等）の見直しの視点

■利用の実態

| No. | 路線 | 利用の傾向 (乗降調査) ※ | 利用の形態 (乗降調査) ※ | 再編の考え方② | |
|-----|--------|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | 区分 | 内容 |
| 1 | 島田線 | A・B・イ | ・朝夕は通学利用が主 ・昼は通院利用が主 ・針ヶ原は利用少 | ・利用が多い時間帯の維持 ・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、減便 | ・通学利用が主である朝、夕の上下便を維持し、利用が少ない高田駅へ向かう13時台のダイヤ変更、減便を検討する。 ・利用が少ない土日の減便を検討 |
| 2 | 山寺薬師線 | A・ア | ・朝夕は通学利用が主 ・昼の利用は少ない | ・利用が多い時間帯の維持 ・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、減便 | ・通学利用が主である板倉中学校へ向かう7、8時台及び山寺薬師へ向かう10、15、16時台の便を維持し、その他の便はダイヤ変更、減便を検討する。 ・利用が少ない土日の減便を検討、特に利用が少ない日曜日の運行とりやめを検討 |
| 3 | 上関田線 | A・ア | ・朝夕は通勤、通学利用が主 ・昼の利用は少ない | ・利用が多い時間帯の維持 ・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、減便 | ・通学利用が主である板倉中学校へ向かう7、8時台及び上関田へ向かう10～16時台の便を維持し、その他の便はダイヤ変更、減便を検討する。 ・利用が少ない土日の減便を検討、特に利用が少ない日曜日の運行とりやめを検討 |
| 4 | 孤立線 | A・B・ア | ・朝夕は通学利用が主 ・昼、板倉中学校-保健センターは利用少 | ・利用が多い時間帯の維持 ・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、減便 | ・通学利用が主である板倉中学校へ向かう7時台及び孤立へ向かう15、17時台の便を維持し、その他の便はダイヤ変更、減便を検討する。 ・利用が少ない土日の減便を検討、特に利用が少ない日曜日の運行とりやめを検討 |
| 5 | 三針線 | A・ア | ・朝夕は通学利用のみ ・昼の利用は少ない | ・利用が多い時間帯の維持 ・利用が少ない時間帯の減便 | ・通学利用が主であるコミュニティプラザ前へ向かう7、8時台の便及び清里区総合事務所へ向かう17時台の便を当面維持する。その他の便は減便とする。 |
| 6 | 新井・板倉線 | A・ア | ・朝夕は通学利用が主 ・昼は通院利用が主 | ・利用が多い時間帯の維持 ・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、減便 | ・利用がないコミュニティプラザ前へ向かう6時台の便の減便を検討し、その他の便は通学、通院利用等があることから現状維持とする。 ・利用が少ない土日の減便を検討、特に利用が少ない日曜日の運行とりやめを検討 |

■地域住民の意見

| No. | 路線 | 地域住民の意見 | | 再編の考え方③ |
|-----|--------|------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 利用者の意見 (乗降調査) | 住民の意見 (聞き取り調査) | |
| 1 | 島田線 | ・意見なし(0人/47人) | ・集落カルテ調査、有恒高校へのアンケートより、上越妙高駅への乗り入れ要望が(1町内会、109人中15人) | ・平日は高校生の通学利用があることから、利用が少ない土日の上越妙高駅への試験運行を検討し、利用喚起を図る。 |
| 2 | 山寺薬師線 | ・意見なし(0人/38人) | ・集落カルテ調査より、コミプラでの乗り換えが面倒(1団体) ・板倉中学校PTAより、部活動の終了時間に合わせた19時台のバスの運行(1団体) | ・コミプラでの乗り換えは前回再編時に合意済みであり、対応しない。 ・現状朝、夕ともに中学生の利用が少ない中、19時台を設けたところで、利用者増は見込めないため、対応しない。 |
| 3 | 上関田線 | ・意見なし(0人/42人) | ・板倉中学校PTAより、部活動の終了時間に合わせた19時台のバスの運行(1団体) | ・現状朝、夕ともに中学生の利用が少ない中、19時台を設けたところで、利用者増は見込めないため、対応しない。 |
| 4 | 孤立線 | ・意見なし(0人/51人) | ・板倉中学校PTAより、部活動の終了時間に合わせた19時台のバスの運行(1団体) | ・現状朝、夕ともに中学生の利用が少ない中、19時台を設けたところで、利用者増は見込めないため、対応しない。 |
| 5 | 三針線 | ・意見なし(0人/11人) | ・意見なし | ・意見がないため、①②で対応 |
| 6 | 新井・板倉線 | ・意見なし(0人/183人) | ・有恒高校へのアンケートより、新井方面への増便希望109人中(5人) | ・具体的な時間を示す要望ではないことから対応しない。 |

2 区全体の状況

■65歳以上の高齢者の移動先（参考）地域の送迎サービス

| No. | 名称 | 運行主体 | 区間 | 運行日 |
|-----|--------|--------|----|-----|
| | | | | |
| 1位 | 区内 | 区内 | | |
| 2位 | 妙高市 | 妙高市 | | |
| 3位 | 中央病院周辺 | 中央病院周辺 | | |

※パーセンテージは、当該行先を回答した町内会の割合

■高校生アンケート

| | |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ダイヤ | ・本数を増やしてほしい。(1人) ・12時頃のバスを増やしてほしい。(1人) ・18時～19時の便を増やしてほしい。(1人) |
| 運賃 | ・運賃が高い。(2人) |
| 鉄道 | ・本数が少ない。(2人) ・高田方面への7時前半の電車がほしい。(1人) ・混んでいる時間帯の車両を増やしてほしい。(1人) ・人が多いときは全てのドアを開けてほしい。(1人) |

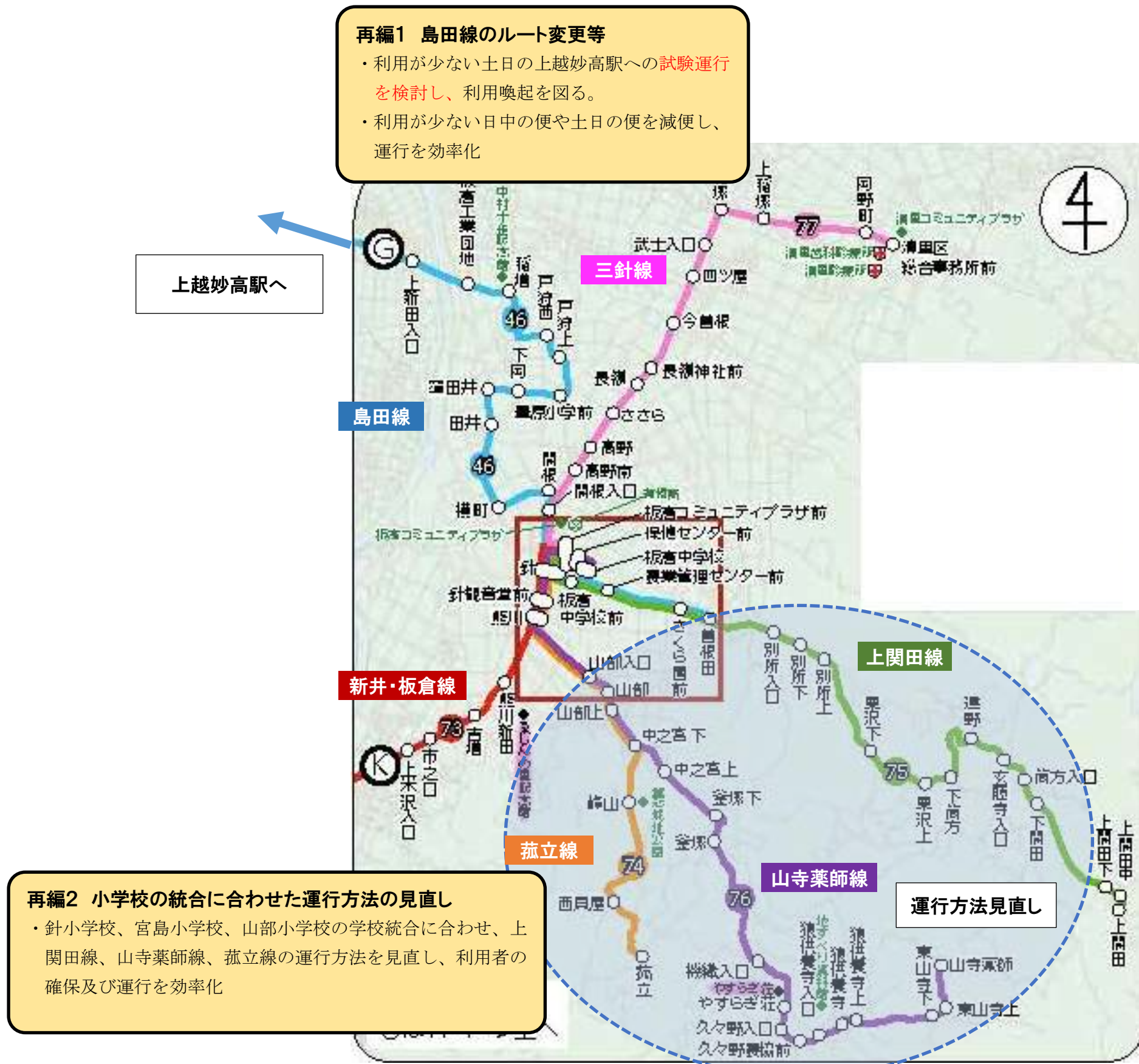
■聞き取り調査の状況

| 実施内容 | 実施状況 | 結果 |
|-------------|------|-----------------------------------------------------------------------|
| 町内会長への聞き取り | 50人 | ・島田線の上越妙高駅経由、中央病院行きの要望 |
| 民生委員への聞き取り | 20人 | ・高齢者世帯で困っているという意見はない。 |
| サロンでの聞き取り | 26人 | ・日頃の通院や買い物は家族や親せき、近所の人から車に乗せてもらうことが多い。 ・デマンド予約が面倒 |
| 免許返納者への聞き取り | 28人 | ・28人中3人がバス利用者であり、残りは送迎、タクシーを利用 ・バスを利用したいができないと回答した7人中5人がバス停から遠いと回答 |
| 合計 | 124人 | - |

3 再編の方向性

| No. | 路線名 | 区分 | 再編の方向性 |
|-----|-------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 島田線 | 幹線 | ・利用者が少ない土日に上越妙高駅への試験運行を検討し、利用喚起を図る。 ・通学利用が主である朝、夕の便の維持、利用の少ない時間帯のダイヤ変更、減便を検討する。 ・利用が少ない土日の減便を検討する。 |
| 2 | 山寺薬師線 | 支線 | ・小学校の統合に合わせた運行形態の見直し(乗合タクシー、市営バス) ・通学利用が主である朝、夕の便の維持、利用が少ない時間帯のダイヤ変更、減便を検討する。 |
| 3 | 上関田線 | 支線 | ・利用が少ない土日の減便を検討、特に利用が少ない日曜日の運行とりやめを検討する。 |
| 4 | 孤立線 | 支線 | ・通学利用がある朝、夕の便の当面の維持、その他利用がない便を減便とする。 |
| 5 | 三針線 | 支線 | ・通学、通院利用がある便の維持 ・利用が少ない土日の減便を検討、特に利用が少ない日曜日の運行とりやめを検討する。 |

※幹線と支線の乗換拠点は板倉コミュニティプラザ前



視察研修についての要望調査

資料2

(報告期限：7月18日(木)まで)

委員名：

1 視察研修のご希望の日程についてご記入ください

月 (上 ・ 中 ・ 下)

2 視察希望についてご記入ください

| 番号 | テーマ | 視察先 | 研修内容 |
|----|-------------------|---------------------------|----------------------------------------------------|
| | (例) 災害復興とまちづくり | (例) 糸魚川市 復興まちづくり情報センター | (例) ・糸魚川市駅北大火からの復興支援の在り方 ・復興にとどまらない地域活性化の在り方 |
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

3 過去の視察地 (参考)

| 年度 | 視察先 | 研修内容 |
|--------|---------------|--------------------------------------|
| 平成30年度 | 糸魚川市 | 災害復興とまちづくりについて |
| 平成29年度 | 市内施設 | 新クリーンセンター及び板倉区関係施設(上江用水路、鴨井家)の視察 |
| 平成28年度 | 十日町市 | 住み開きの古民家「ギルドハウス十日町」、体験交流ハウス「ハチャネ」の視察 |
| 平成27年度 | 十日町市大地の芸術祭事務局 | 大地の芸術祭による地域活性化について |
| | 浦川原区総合事務所 | 浦川原区の小学校の在り方について |
| 平成26年度 | 長野県飯縄町役場 | iバス事業(新公共交通システム)について |
| | 長野県飯山市役所 | 移住促進施策・空き家を活用した取組について |
| 平成25年度 | 上越市大島区板山 | 中山間地の移住支援について |
| | 小千谷市役所 | 自主防災活動の取組について |
| 平成24年度 | 区内研修 | 公の施設の再配置対象、地域活動支援事業対象現場 |
| | 市内施設 | 新幹線新駅等の市の主要プロジェクトの視察 |

板倉区の小学校の統合に向けた検討状況及び今後の対応について

当日配布資料
令和元年6月19日
教育総務課

1 取組経過

| 時期 | 取組 | 概要 | |
|--------|-----|----------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 平成30年度 | 5月 | 地域協議会の意見書への回答 | |
| | 8月 | 第1回保護者説明会 (4校で開催、参加者合計60人) | ・板倉区の小学校の現状等について ・教育委員会の考え、進め方について |
| | 11月 | いたくら保育園保護者説明会 (参加者37人) | |
| | 12月 | 第2回保護者説明会 (4校で開催、参加者合計61人) | ・望ましい教育環境について ・統合までの流れについて |
| | 3月 | 4校合同保護者意見交換会 ※4校PTA主催 (参加者合計64人) | 【各会共通】 ・学校教育の方向性について ・板倉区の小学校の将来を考えていく上での視点について |
| 令和元年度 | 5月 | 第3回保護者説明会 (4校で開催、参加者合計123人) | ※ 教育長による上記説明後、統合に向けた意見交換を実施。保護者の主な意見等は、次の2のとおり |

2 説明会等での保護者の主な意見・要望

○ 統合の必要性について

- ・これまで複式学級に不満はなかったが、今後の学校教育（新学習指導要領など）の話の聞き、統合してもう少し規模が大きくなった方が良く納得した。
- ・宮嶋小と山部小の複式学級を解消するために統合は必要である。
- ・子ども達は中学校で一緒になるのだから、小学校も一緒がよい。

○ 統合の方法・校名について

- ・まずは宮嶋小と山部小の複式学級の解消を優先し、針小との3校で統合を進め、将来的には豊原小も一緒になるのがよい。
- ・4校一緒に統合してもらいたい。できれば校舎を建ててほしい。
- ・統合する学校の名称は、「いたくら保育園」と「板倉中学校」のように区の名称で統一し、「板倉小学校」にしてもらいたい。
- ・統合を進めることが大切であるので、校名でもめて統合が遅れるようであれば、統合先の学校名のままでよい。

○ 統合後の学校環境について

- ・スクールバスを運行してほしい。
- ・放課後児童クラブの利用に不便がないようにしてほしい。
- ・統合校の改修と合わせて、駐車場を増やしてほしい。



第3回保護者説明会の様子

3 今後の対応

保護者の意向を踏まえ、板倉区の小学校のより良い教育環境の実現に向けた統合の方針を教育委員会としてまとめ、地域に説明を行う。

保護者及び学校と連携し、統合に向けた具体的な検討作業に取り組む。

【児童数の推移】

- ・令和元年度の児童数は5月1日現在。令和2年度以降は推計値
- ・網掛けは複式学級相当

■ 針小学校

| 年度 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| R1 | 15 | 11 | 16 | 20 | 20 | 19 | 101 |
| R2 | 15 | 15 | 11 | 16 | 20 | 20 | 97 |
| R3 | 15 | 15 | 15 | 11 | 16 | 20 | 92 |
| R4 | 12 | 15 | 15 | 15 | 11 | 16 | 84 |
| R5 | 13 | 12 | 15 | 15 | 15 | 11 | 81 |
| R6 | 14 | 13 | 12 | 15 | 15 | 15 | 84 |
| R7 | 6 | 14 | 13 | 12 | 15 | 15 | 75 |

■ 宮嶋小学校

| 年度 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| R1 | 7 | 6 | 5 | 9 | 8 | 11 | 46 |
| R2 | 6 | 7 | 6 | 5 | 9 | 8 | 41 |
| R3 | 2 | 6 | 7 | 6 | 5 | 9 | 35 |
| R4 | 6 | 2 | 6 | 7 | 6 | 5 | 32 |
| R5 | 3 | 6 | 2 | 6 | 7 | 6 | 30 |
| R6 | 3 | 3 | 6 | 2 | 6 | 7 | 27 |
| R7 | 4 | 3 | 3 | 6 | 2 | 6 | 24 |

■ 山部小学校

| 年度 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| R1 | 4 | 2 | 5 | 4 | 7 | 8 | 30 |
| R2 | 8 | 4 | 2 | 5 | 4 | 7 | 30 |
| R3 | 5 | 8 | 4 | 2 | 5 | 4 | 28 |
| R4 | 3 | 5 | 8 | 4 | 2 | 5 | 27 |
| R5 | 3 | 3 | 5 | 8 | 4 | 2 | 25 |
| R6 | 3 | 3 | 3 | 5 | 8 | 4 | 26 |
| R7 | 3 | 3 | 3 | 3 | 5 | 8 | 25 |

■ 豊原小学校

| 年度 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| R1 | 16 | 14 | 27 | 17 | 24 | 33 | 131 |
| R2 | 20 | 16 | 14 | 27 | 17 | 24 | 118 |
| R3 | 16 | 20 | 16 | 14 | 27 | 17 | 110 |
| R4 | 13 | 16 | 20 | 16 | 14 | 27 | 106 |
| R5 | 16 | 13 | 16 | 20 | 16 | 14 | 95 |
| R6 | 10 | 16 | 13 | 16 | 20 | 16 | 91 |
| R7 | 13 | 10 | 16 | 13 | 16 | 20 | 88 |

【参考】針小・宮嶋小・山部小3校の合計

| 年度 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| R1 | 人数 | 26 | 19 | 26 | 33 | 35 | 38 | 177 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| R2 | 人数 | 29 | 26 | 19 | 26 | 33 | 35 | 168 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| R3 | 人数 | 22 | 29 | 26 | 19 | 26 | 33 | 155 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| R4 | 人数 | 21 | 22 | 29 | 26 | 19 | 26 | 143 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| R5 | 人数 | 19 | 21 | 22 | 29 | 26 | 19 | 136 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| R6 | 人数 | 20 | 19 | 21 | 22 | 29 | 26 | 137 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| R7 | 人数 | 13 | 20 | 19 | 21 | 22 | 29 | 124 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |

【参考】区内4小学校の合計

| 年度 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| R1 | 人数 | 42 | 33 | 53 | 50 | 59 | 71 | 308 |
| | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 12 |
| R2 | 人数 | 49 | 42 | 33 | 53 | 50 | 59 | 286 |
| | 学級数 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 11 |
| R3 | 人数 | 38 | 49 | 42 | 33 | 53 | 50 | 265 |
| | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 11 |
| R4 | 人数 | 34 | 38 | 49 | 42 | 33 | 53 | 249 |
| | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 11 |
| R5 | 人数 | 35 | 34 | 38 | 49 | 42 | 33 | 231 |
| | 学級数 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 10 |
| R6 | 人数 | 30 | 35 | 34 | 38 | 49 | 42 | 228 |
| | 学級数 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 9 |
| R7 | 人数 | 26 | 30 | 35 | 34 | 38 | 49 | 212 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 7 |

板倉区内の小・中学校 位置図

針小学校から
半径3kmの範囲

稲増 14人
桜ヶ丘 12人
青葉 11人
緑ヶ丘 18人
田井 9人

上福田新田 3人
戸狩 17人
下長嶺 1人

宮嶋小まで 1.5km 徒歩17分 車で5分
針小まで 2.3km 徒歩30分 車で6分

高野 上長嶺 4人
坂井 1人
下沢田 6人

針小まで 1.8km 徒歩23分 車で5分

小石原 4人
南中島 下米沢 12人 2人

豊原小
針小 52人

板倉中
宮嶋小
田屋 2人
宮島 3人

針小まで 2.1km 徒歩27分 車で6分

関根 4人
板倉小
熊川 9人
山部 16人
福王寺 2人

国川 13人
善根田 6人
別所 1人

山部小まで 5.1km 車で10分
針小まで 6.5km 車で12分

吉増 5人
山越 2人
山部小

中之宮 5人

宮嶋小まで 6.3km 車で11分
針小まで 7.4km 車で12分

… 小学校の校区の範囲

※ 町内会的人数は、令和3年4月時点での児童数の推計値

